

脳ドックの受診を検討している方へ

30,000 例を超えるビッグデータをAIで分析し
開発された新しい脳健康評価プログラム

MVision^{health}

エムビジョンヘルスのご案内



健康に長生きするために「脳の健康管理」を始めませんか

- 現代では、**要介護状態**になる最大の原因は「**脳の健康問題**」*
- 脳の健康は**生活習慣の改善**が大切
- まずは**自分の脳の健康状態**を知ることから始めませんか？

*「平成 28 年 国民生活基礎調査の概況」(厚生労働省)



いくつ当てはまりますか？

ひとつでも当てはまる方には、
MVision health 受診をお勧めします

- | | |
|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 高血圧 | <input type="checkbox"/> 30~50 代
将来のために、
「脳の健康ログ」を
始めてみませんか |
| <input type="checkbox"/> 高血糖 | |
| <input type="checkbox"/> 飲酒 | |
| <input type="checkbox"/> 喫煙 | |
| <input type="checkbox"/> ストレス過多 | <input type="checkbox"/> 60~70 代
認知機能を維持する
動機付けにご活用
しませんか |
| <input type="checkbox"/> 睡眠・休養不足 | |
| <input type="checkbox"/> 運動不足 | |

追加検査不要！

1. 受診の申し込み
2. 頭部 MRI の受診



3. 結果レポート受け取り

脳の健康維持は生活習慣から

- 脳の加齢性変化は **30 代**から始まる
- **生活習慣**の見直しにより改善できる



検査でわかること

脳 MRI 画像の AI 自動解析による数値化

- ① **全脳**の構造部位別の体積 (萎縮度)
- ② **脳**の血管性変化

- 同年代比較での「健康度」の評価
 - 「健康度」の経年変化
- 生活習慣改善の指針に！**

検査結果は、詳細なレポートでご報告

脳の萎縮度などを
同世代比較で評価

脳の「健康ログ」
を把握する

脳の健康維持・強化の
アドバイス冊子付き

あなたの萎縮度合い

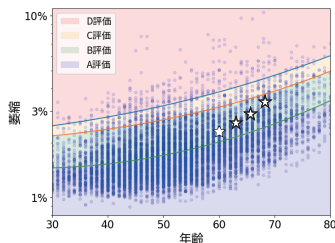
A

B

C

D

下にあなたの脳萎縮の度合いの結果を示しました。星印があなたの結果で、青い点が過に収集した脳ドック受診者のデータです。複数の星印がある場合は、あなたの過去のデータを示しています。この図によりあなたの萎縮度合いを同年代の方々と比較することが可能になります。脳の萎縮と認知機能の低下は、誰にでも起こる加齢による変化です。しかし、それは個人差が大きく、生活習慣が大きくかかわっているとされています。脳の健康を保つための指標としてお使いください。



☆ 2019年4月2日

受診日	同年代ランキング	判定
2019年4月2日	32.97%*	B評価
⋮	⋮	⋮

脳の健康を保ちましょう

1. 脳萎縮の主な原因は下記の通りです。

1. アルツハイマー病
2. 脳血管障害・脳梗塞
3. 大量のアルコール
4. 過大なストレス、睡眠不足

2. 脳を健康に保つには

脳疾患の治療

高血圧症、脂質異常症、糖尿病のコントロールは脳血管を守るために非常に重要です。

参照：健康長寿ネット：https://www.cyojyu.or.jp/net/byoeki/ninchibou/index.html
高血圧管理と認知症予防 | 健康長寿ネット (cyojyu.or.jp)
糖尿病・メタボリックシンドロームと認知症予防 | 健康長寿ネット (cyojyu.or.jp)
脂質異常症と認知症予防 | 健康長寿ネット (cyojyu.or.jp)

食事・生活

日本食とコーヒー

国立長寿医療研究センターは、日本食の食事パターン（日本食スコア）が脳内細菌の代謝産物濃度や認知症と関連することを発見しました。認知症のない人は認知症の人より日本食スコアが高く、魚介類・きのこ・大豆・コーヒーを多く摂取していました。また、これらの食品摂取が多いと脳内細菌の代謝産物濃度が低い傾向でした。

Q&A | よくあるご質問

Q. 結果が悪かった場合には？

- 添付のアドバイスに従って生活習慣を見直しましょう。ご心配な方には提携先の医療機関をご紹介します

Q. 脳ドックの結果と何が違うのでしょうか？

- 通常の脳ドックは、脳動脈瘤や脳腫瘍など「病気の早期発見」を目的としています
- MVision health は、「病気になる前段階の脳の健康状態」を示すことを目的としています。
- 従来脳ドックでは測定が難しかった脳の体積・血管状態が AI 技術により数値化可能になりました。

Q. 検査は一度だけ受ければいいのか？

- 脳の加齢変化を把握頂くために、1~2年に一度の継続的なご受診をお勧めします。

サービスを受けるには 東京ミッドタウンクリニック における受診

オプション料金 8,800 円 (税込み)

- 本サービスは脳ドック受診の必要があります。
- 本サービスは脳の疾患の診断、治療、予防を目的としたものではなく、医療機器の認証を受けた製品ではありません。
- 歯に金属の詰め物がある方は結果が不正確になることがあります。
- 脳機能や認知機能等に関する研究にご参加いただけるか、検査終了後にご案内を差し上げることがあります。

レポートに同封されるアンケートにご協力をお願いします。

また、質問・相談等のご連絡は、相談窓口の info@corporate-m.com にご連絡ください。

上記にご了解頂けましたら、下記の QR コードからお申し込みください。

お申し込みフォーム



←スマートフォンでスキャン

- お申し込みにはメールアドレスが必要です
- メールアドレスをお持ちでない方は、クリニックのスタッフまでお声がけください

ご提供いただいた個人情報は、当社プライバシーポリシーに従い、適切に管理いたします。